



## 研究分野から探す

### ▶ 微細構造解析

- ▶ 電子顕微鏡 (TEM/STEM/SEM)
- ▶ 試料作製
- ▶ 放射光
- ▶ 核磁気共鳴装置 (NMR)
- ▶ X線構造解析
- ▶ 電子状態分析
- ▶ 元素分析
- ▶ イオンビーム加工
- ▶ 光計測
- ▶ 電気特性計測
- ▶ 電磁物性測定

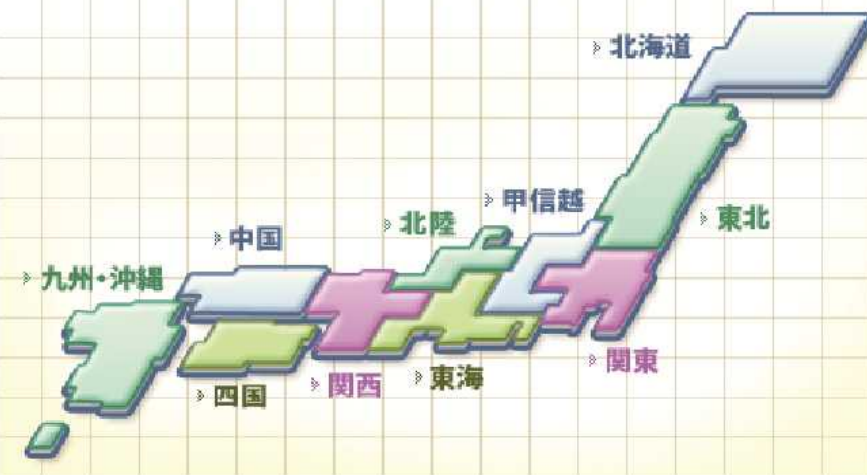
### ▶ 微細加工

### ▶ 分子・物質合成

## 研究機関から探す

- ▶ 北海道大学
- ▶ 千歳科学技術大学
- ▶ 東北大学
- ▶ 物質・材料研究機構
- ▶ 産業技術総合研究所
- ▶ 筑波大学
- ▶ 東京大学
- ▶ 早稲田大学
- ▶ 東京工業大学

## エリアから探す

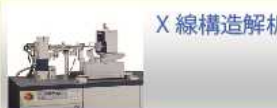


【技術相談もお気軽に!】 お近くの産学官連携推進マネージャーにご相談ください

☎ 03-3238-7682 (共通)

北海道担当	東陽介	✉ <a href="mailto:yousuke.higashi@sangakukan-net.jst.go.jp">yousuke.higashi@sangakukan-net.jst.go.jp</a>
東北・関東甲信越担当	戸田秀夫	✉ <a href="mailto:hideo.toda@jst.go.jp">hideo.toda@jst.go.jp</a>
中部担当	松山豊	✉ <a href="mailto:yutaka.matsuyama@sangakukan-net.jst.go.jp">yutaka.matsuyama@sangakukan-net.jst.go.jp</a>
関西・四国担当	北村佐津木	✉ <a href="mailto:satsuki.kitamura@sangakukan-net.jst.go.jp">satsuki.kitamura@sangakukan-net.jst.go.jp</a>
九州・中国担当	坂本哲雄	✉ <a href="mailto:tetsuo.sakamoto@sangakukan-net.jst.go.jp">tetsuo.sakamoto@sangakukan-net.jst.go.jp</a>

## 設備名から探す



全国25機関の最先端研究施設の共有化と高価支援サービスの提供

先端研究設備共用ネットワーク  
**NanotechJapan**  
ナノテクノロジープラットフォーム  
微細構造解析 微細加工 分子・物質合成

**Nanotechnology**  
文部科学省 ナノテクノロジープラットフォーム  
**第11回ナノテクノロジー総合シンポジウム**  
JAPAN NANO 2013  
参加事前登録はこちら

## 新着・お知らせ

- ☐ 放射光実験設備利用講習会・放射光利用研究セミナー (3月22日)
- ☐ ナノテクノロジーフォーラム・クリーンエネルギー分野&グリーンエレクトロニクス分野連携シンポジウム (2月26日)
- ☐ 第1回地域セミナー「最先端電子顕微鏡と微細構造解析」(2月19日)
- ☐ 京都府中小企業技術センター 第4回ものづくり基礎技術セミナー (2月14日)
- ☐ 九州大学 ナノテクノロジープラットフォーム講演会・機器見学会 (1月24日)
- ☐ 第2回九州大学 分子・物質合成プラットフォームセミナー (1月21日)
- ☐ 日本放射光学会 市民公開講座 (1月12日)
- ☐ NIMS・AIST 微細構造解析プラットフォーム合同地域セミナー (12月6日)

# 3.3 他の共用プラットフォームとの連携

- ・WEB上でのリンク貼り付け
- ・大型施設訪問、利用紹介

The screenshot shows the Nanotech Japan website with the following sections:

- Search by Institution / Search by Facility:** Search boxes for finding institutions and facilities.
- Quick Access:** A red box with contact information: 029-859-2777.
- Platform List:** A vertical list of platforms including:
  - 材料合成プラットフォーム
  - 大規模施設プラットフォーム
  - 分子・物質合成プラットフォーム
  - 先端計測プラットフォーム
- News Section:** A list of recent news items with dates, such as:
  - 2013/12/24: 産総研が国際大学校協会の加盟審査「自立プログラム研究交流」における平成23年度新加盟校の発表について
  - 2013/12/09: JST 産学連携共同研究プログラム(A-STEP)「創薬技術ユース」産学共同研究センターの設立について
  - 2013/12/02: ナノテクノロジープラットフォームの創設説明会(12月17日開催)のお知らせ
  - 2013/11/26: JST 産学連携共同研究センター「産学共同研究センター」創設成果の発表(産学連携)における平成23年度新加盟校の発表について
  - 2013/11/06: JST ナノテクノロジーセンター「ナノテクノ」の創設(12月4～5日)
  - 2013/10/28: JST 産学連携共同研究センター「産学共同研究センター」創設成果の発表(産学連携)における平成23年度新加盟校の発表について
  - 2013/10/28: JST 産学連携共同研究センターにおける平成23年度新加盟校の発表について
  - 2013/10/21: 産学共同研究センター「産学共同研究センター」創設成果の発表(産学連携)における平成23年度新加盟校の発表について
  - 2013/10/15: JST 産学連携共同研究センターにおける平成23年度新加盟校の発表について
  - 2013/10/10: 産学共同研究センター「産学共同研究センター」創設成果の発表(産学連携)における平成23年度新加盟校の発表について
  - 2013/09/27: JST 産学連携共同研究センター「産学共同研究センター」創設成果の発表(産学連携)における平成23年度新加盟校の発表について
  - 2013/09/24: JST 産学連携共同研究センター「産学共同研究センター」創設成果の発表(産学連携)における平成23年度新加盟校の発表について
- Event Calendar:** A calendar for 2014 showing events on 01st, 02nd, 03rd, 04th, 05th, 06th, 07th, 08th, 09th, 10th, 11th, 12th, 13th, 14th, 15th, 16th, 17th, 18th, 19th, 20th, 21st, 22nd, 23rd, 24th, 25th, 26th, 27th, 28th, 29th, 30th, 31st.
- Footer:** Links to 文部科学省, JST 科学技術振興機構, 共用ナビ, and 先端計測.

## 3.4 人材育成・確保に向けた取組内容

PF施設利用を通じた学生研修、海外の共用施設における学生研修、分野横断技術者交流、若手研究者の国際交流等により、次世代の研究者・技術者の育成とともに、研究設備共用化に対する意識の浸透を促進する。

### 1) PF施設利用学生研修プログラム

H24年度 12名

H25年度 33名(21名増)

7～8月に研修実施、8/30に成果発表会実施

研修後、3名PFユーザー利用、1名FS事業申込



学生研修 成果発表会

### 2) 米国NNIN施設利用夏期研修プログラム

H24年度 日本→NNIN 2名

(NNIN→NIMS 8名)

H25年度 日本→NNIN 9名(7名増)

(NNIN→NIMS 10名)

6～8月にNNIN (National Nanotechnology Infrastructure Network)の構成大学にて8～10週間の研修実施、

8/11-14にConvocation、10/17に成果報告会で発表

### 3) 分野融合技術支援者交流プログラム

スキルアップのための分野を超えた他PF実施機関での研修

H24年度 5名

H25年度 11～3月に21名程度の研修実施中



NNIN Convocation 21

#### 4) 日米若手研究者交流プログラム

H24年度 3月に日本チームが訪米 (UCLA, Caltech, Harvard, MIT)

H25年度 12月に米国チームが来日 (訪問先: NIMS、東大、阪大、京大)

テーマ: Nano Biosensing

訪問先: 検討中

日本チーム: 若手研究者 11名

米国チーム: 若手研究者 11名



UCLA – Japan Nano-Bio Symposium

#### 5) 国際連携推進事業

##### ・ヨーロッパとの国際連携調査

9/8-15にセンター機関の2名が訪欧し、設備共用の状況、若手研究者の交流や学生研修派遣における協力の可能性等について調査した。

訪問先: オランダ NanoNextNL, ドイツ KIT, MPI-Intelligent Systems, Fraunhofer, スイス IBM-Zurich, Empa, フランス MINATEC

##### ・オランダとの合同ワークショップ

NanoNextNLからの提案を受け、H26年1月 nano tech 2014の開催期間中に合同WSを開催する方向で検討中

##### ・アジアナノキャンプ

H25年度 1月に日本で開催予定

## 3.5 イノベーション創出に資する取組内容など

### 新規ユーザー・企業ユーザー開拓 (1)

#### 1. 「試行的利用」に拠る潜在ユーザー掘り起し

新規ユーザーの誘導ツールとして有効に機能。広くWEB,メール配信等でPRすると共に、JST連携推進マネージャー、各プラットフォームコーディネータに拠る個別働きかけでも誘導策となった。

#### 2. NBCI参加企業へのPR

- (1) ナノテク総合シンポ、試行的利用等、主催／共催事業を参加企業へ案内。
- (2) 参加企業窓口担当者を通じ、個別説明会の開催働きかけ。
- (3) ナノテク事業創成会議、ビジネスマッチング推進委員会、事業化支援委員会支援するベンチャー企業の課題解決への協力。大企業の技術課題への技術相談対応。

#### 3. 各種学協会でのブース展示

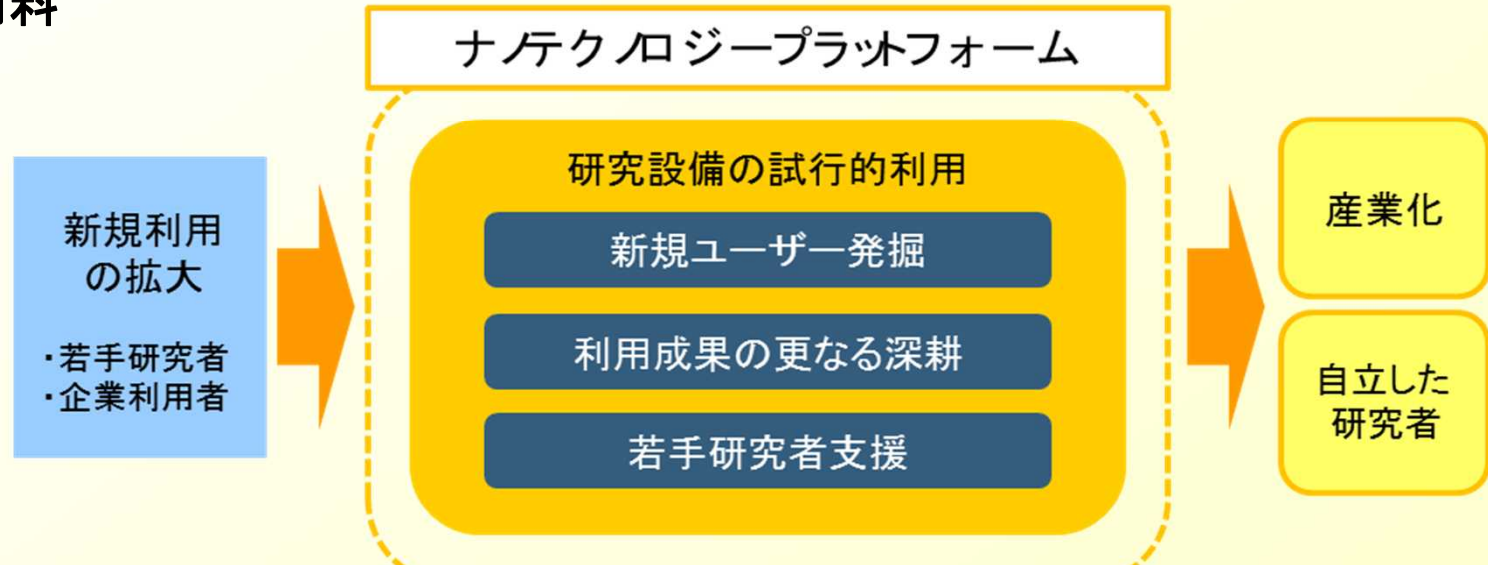
- (1) 応用物理学会、化学会、ナノマイクロビジネス展、イノベジャパン等。
- (2) 参加企業へ個別説明会の企画、実施。

## 「試行的利用」 事業の実施

- ・採択者に対して、利用料と旅費等を支援

### 研究設備の試行的利用

- 1) 新しいユーザ(大学、研究所、企業)、特に新規企業ユーザを発掘
- 2) イノベーション創出の芽となるテーマを見出し、最先端設備により研究を進展
- 3) 産業界の技術課題の解決に貢献し、産業化促進
- 4) 高度の技術支援と実体験を通じ、自立した研究者育成に寄与



## 応募・採択件数の実績

(平成24年度と25年度暫定値)

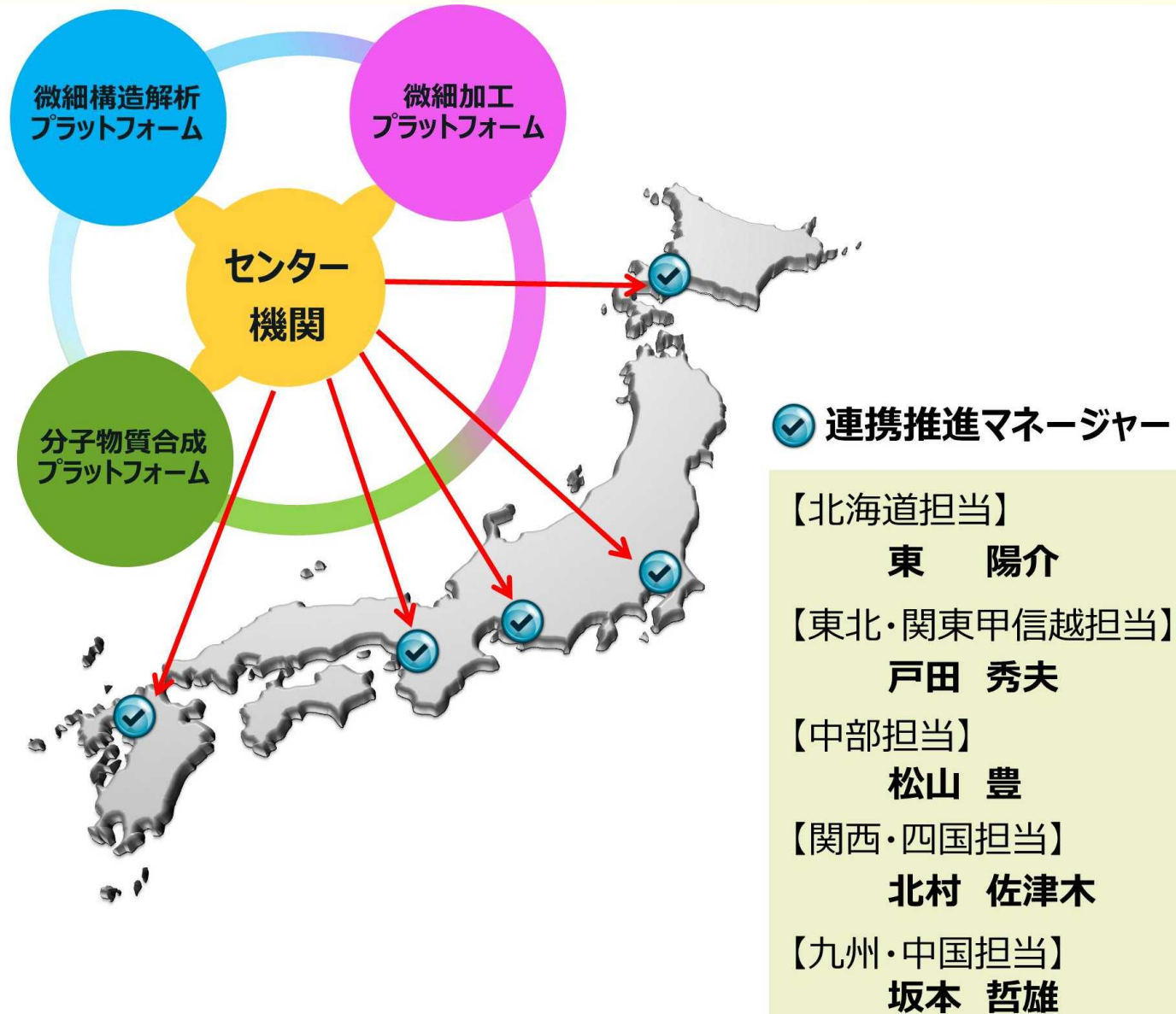
- ☆ 平成24年度は、11月下旬～2月末
- ☆ 平成25年度は、3回に分けて採択
- ☆ 「若手」は39歳以下。

	応募 総数 (件)	採択件数		採択件数に占める割合		
		件数 (件)	採択率 (%)	新規 ユーザ (%)	若手 ユーザ (%)	企業 ユーザ (%)
平成 24年度	66	52	79	60	52	19
平成 25年度	115	96	83	59	61	23

# 産学官連携推進マネージャー(全国5か所)による地域での活動

JSTのネットワークを活用、企業、大学、公設試を訪問し、新規ユーザを開拓、産官学連携を推進、地域セミナーの企画等

試行的利用案件を基に各プラットフォーム／実施機関との連携



## 新規ユーザー・企業ユーザー開拓 (2)

### 産学官連携マネージャーによる新規ユーザ等開拓状況

全国を北海道、東北・関東甲信越、中部、近畿・四国、中国・九州の5つのブロックに分け、5名の連携推進マネージャーが活動を行っている。

・JSTのネットワークを活かし、大学の産学連携部門、公設試、企業訪問等を実施する他、JST内の各事業のコーディネータに事業説明するなど、広報活動を展開。

・各実施機関にも訪問し、連携を密にすることによって、より具体的な実施イメージを提案することができ、新規ユーザ獲得に繋がっている。

H24年度に比べ、向上。

#### H25年度訪問活動実績

	延べ訪問・対応回数			認知件数		認知率	
	H24	H25	合計	H24	H25	H24	H25
大学・高専	96	95	191(178) *	20	58	21%	61%
公設試・公益機関	66	56	122(111)	28	20	42%	36%
企業	55	104	159(139)	2	51	4%	49%
実施機関	35	14	49(35)	—		—	
合計(実施機関除く)	217	255	472(428)			23%	51%

\* 括弧内数字は新規の数

(9月末日時点)



# 産学官連携マネージャーによる地域連携活動

## ・地方潜在ユーザーの開拓

→地域セミナーの開催

①2013年11月12日(火) 東北地区

会場:TKPガーデンシティ仙台

②2013年1月頃 北陸地区

つくば、北海道、四国・・・H26年度以降も順次開催予定

## ・企業ユーザ開拓

→企業向け説明会の開催

JSTの出向者、企業OBを中心に事業説明会実施。企業へのPRとともに事業採択先へのPRを行う。

## ・利用者のフォロー

→支援実施後もユーザーの動向をフォローし、事業化へつなげる。

## 3.6 今後の課題・取組予定

1. 潜在ユーザの掘り起し、特に地域の企業。  
→ 地域セミナー、企業出前説明会
2. 試行的利用の拡張  
→ イノベーションにつながる利用支援、利用成果の展開促進
3. 大型施設との連携  
→ 大型施設へのシーケンシャルな利用の流れ
4. 技術支援人材の確保とキャリアパス  
→ タスクフォース活動等
5. 国際的なネットワーク作り